

## 「黒ボク土」の授業を行いました

9月16日に、須知高校（京丹波町）内で「黒ボク土」の土壌断面を掘削し、観察する授業を、また、9月24日に、土壌断面の標本を採取し、保存する授業を当センターの研究員が行いました。

作成した土壌標本は、毎年10万人規模の人出で賑わう全国産業教育フェア（11月、神奈川県）などで、須知高校産の黒大豆等とともに、同校が展示する予定です。

黒ボク土：火山灰中のアルミニウムと動植物遺体が結びつくことによって、有機物が分解しにくくなり、黒色になった土。京丹波町の黒ボク土は、7,300年前に九州から飛来した火山灰が起源となっている。



授業「黒ボク土を観察してみよう」（9月16日）